

(4～5ヶ月用)

K-DST Korean Developmental Screening
Test for Infants & Children

韓国乳幼児発達スクリーニング検査

この発達スクリーニング検査道具は、乳幼児健康診断事業の一環として、保健福祉部と疾病管理本部の後援の下、大韓小児科学会、大韓小児精神健康医学会、大韓小児リハビリテーション発達医学会、心理学などの関連分野の専門家が集まり、韓国の乳幼児の特性に合わせて開発されたものです。

改正版



この検査紙の所有と著作権は、保健福祉部と疾病管理本部にあるため、承認なくして無断で変更・使用・販売することはできません。但し、診療現場や乳幼児の保育施設で所定の教育を修得した乳幼児健診医、小児科専門医、リハビリテーション科専門医、精神科専門医、発達障害関連の専門家(臨床心理学の専門家、発達心理学の専門家など)が乳幼児の発達スクリーニング検査のために使用することは許容されます。

韓国乳幼児発達スクリーニング検査(4～5ヶ月用)

※ 下記の事項を記載してください。空欄を記入して、該当事項を ☒ チェックしてください。

乳幼児氏名			(男・女)	保護者	<input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 祖母 <input type="checkbox"/> 祖父 <input type="checkbox"/> その他()				
生年月日	年 月 日		日(早産乳児の場合は出産予定日: 年 月 日)						
母親・父親について (選択事項)	母親の	年齢: 満()歳	学歴: <input type="checkbox"/> 大学院以上 <input type="checkbox"/> 大卒 <input type="checkbox"/> 大学中退 <input type="checkbox"/> 高卒 <input type="checkbox"/> 中卒以下						
	父親の	年齢: 満()歳	学歴: <input type="checkbox"/> 大学院以上 <input type="checkbox"/> 大卒 <input type="checkbox"/> 大学中退 <input type="checkbox"/> 高卒 <input type="checkbox"/> 中卒以下						
赤ちゃんの身体やその他発達に問題がありますか?			<input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい(あるとしたら具体的な病名は?)						

** この質問紙は、満4～5ヶ月の赤ちゃんのための質問紙です。赤ちゃんが対象月齢でない場合は、月齢にあった質問紙にご記入ください。

※ 各質問項目に対して、下記の4つのうち1つだけチェックしてください。

もし、赤ちゃんが質問内容通りに行動できるか分からない場合は、行動を誘導してからお答えください。

よくできる ③	まあまあできる ②	あまりできない ①	まったくできない ④
---------	-----------	-----------	------------

以下の質問について、「赤ちゃんができるかどうか」を評価してください。

赤ちゃんが当該行動をできるけれども、様々な理由によってあまりしない場合:

例) 赤ちゃんがハサミを十分に使えるほど手の機能が発達しているように見えるが、普段はハサミを与えていない。

ブロック積みをすることはできるが、家にブロックがない、またはブロック遊びをあまり好んでいない。

このような場合には、「できる」とみなしてください。

粗大運動

1	仰向けに寝た状態から半分寝返れる。	③ ② ① ④	5	うつぶせの状態から寝返りをうてる。	③ ② ① ④
2	うつぶせの状態です頭を上げ下げできる。 	③ ② ① ④	6	仰向けに寝た状態からうつぶせに寝返りをうてる。(体の下に腕が入っていない状態から)	③ ② ① ④
3	寝た状態で両腕を持って引き起こし座らせると、首が後ろに下がらず体についてくる。 	③ ② ① ④	7	寝た状態で自分の足を持って遊ぶ。 	③ ② ① ④
4	うつぶせの状態です胸を起こして両腕で体を支える。 	③ ② ① ④	8	座らせると両手で支えて自分の力だけで30秒以上座っている。 	③ ② ① ④

✧ 各質問項目に対して、下記の4つのうち1つだけチェックしてください。
もし、赤ちゃんが質問内容通りに行動できるか分からない場合は、行動を誘導してからお答えください。

よくできる ③	まあまあできる ②	あまりできない ①	まったくできない ④
---------	-----------	-----------	------------

微細運動

1	仰向けに寝た状態から両手を胸の上に持ってくる。 	③ ② ① ④	5	ガラガラを手の近くに持っていきと自ら握る。	③ ② ① ④
2	手にガラガラを持たせるとしばらく握っている。	③ ② ① ④	6	座った姿勢で抱っこされている時に、テーブルの上のおもちゃに向かって手を伸ばす。(おもちゃが手に届かなくてもよい。)	③ ② ① ④
3	座った姿勢で抱っこされている時に、両手をあわせて握ったり指をさわる。	③ ② ① ④	7	小さいおもちゃをつかむ時に、手のひらに当てて指で包んでつかむ。 	③ ② ① ④
4	手に握っているガラガラを自分の口元へ持っていく。	③ ② ① ④	8	ガラガラを握っている手に他のおもちゃをあげると、ガラガラを落として新しいおもちゃをつかむ。	③ ② ① ④

よくできる ③	まあまあできる ②	あまりできない ①	まったくできない ④
---------	-----------	-----------	------------

認知

1	音のする方に顔を向ける。	③ ② ① ④	5	ガラガラを振ったり、じっと見たり、口に入れるなど、ガラガラで遊ぶ。	③ ② ① ④
2	目の前でおもちゃを動かすと、視線がその動きに合わせてついてくる。	③ ② ① ④	6	ガラガラやスプーンのような物を床に打ち付けて遊ぶ。	③ ② ① ④
3	音を聞いている状態で他の新しい音が聞こえると、その音に関心を示す。	③ ② ① ④	7	おもちゃが落ちた場所を見つめる。	③ ② ① ④
4	自分の手と指をじっと見つめる。	③ ② ① ④	8	見慣れた大人が抱っこしようとする腕を広げる。	③ ② ① ④

✧ 各質問項目に対して、下記の4つのうち1つだけチェックしてください。
もし、赤ちゃんが質問内容通りに行動できるか分からない場合は、行動を誘導してからお答えください。

よくできる ③	まあまあできる ②	あまりできない ①	まったくできない ④
---------	-----------	-----------	------------

言語

1	『ア』、『ウ』、『イ』などの意味のない声を出す。	③ ② ① ④
2	幼児をあやしたりなだめたりすると、喃語で反応する。	③ ② ① ④
3	声を出して笑う。	③ ② ① ④
4	おもちゃや人を見ると声を出して反応する。	③ ② ① ④
5	唇を震わせて『ブブブ』、『プププ』などの音を出す。	③ ② ① ④
6	『ブ』、『プ』、『ム』などの声を出す。	③ ② ① ④
7	『ママ』や『パパ』に近い声を出す。(意味のない音も含める)	③ ② ① ④
8	幼児に『ダメよ』というと、一瞬でも動作を止めて声に反応する。	③ ② ① ④

よくできる ③	まあまあできる ②	あまりできない ①	まったくできない ④
---------	-----------	-----------	------------

社会性

1	母親(保護者)が席をはずしてから再び口戻ってくると、母親(保護者)を認識して泣き止む。	③ ② ① ④
2	赤ちゃんが母親(保護者)と話をしたり口遊んでいる時に、母親(保護者)の顔を見つめる。	③ ② ① ④
3	大人が幼児の方を見て話したり笑う前に大人を見て先に笑う。	③ ② ① ④
4	大人の顔(髪、鼻、メガネなど)をさわったり引っ張ったりする。	③ ② ① ④
5	鏡に映る自分の姿を見て笑ったりむにやむにや声を出す。	③ ② ① ④
6	赤ちゃんの名前を呼ぶと振り向く。	③ ② ① ④
7	家族などの親しい人を見ると近づこうとする。	③ ② ① ④
8	人見知りをする。(一定の年齢になると見慣れない人を避ける行動を取るのは正常なことで、これを「人見知り」といいます。)	③ ② ① ④

結果表(4～5ヶ月用)

乳幼児 氏名		(男・女)	作成日	年	月	日
生年月日	年	月	日 (早産乳児の場合は出産予定日 : 年	月	日)	
保護者	<input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 祖母 <input type="checkbox"/> 祖父 <input type="checkbox"/> その他()					

結果の要約

分類 領域	1	2	3	4	5	6	7	8	総点	区切り点		
										ア	イ	ウ
粗大運動										9	14	20
微細運動										11	16	24
認知										10	14	20
言語										9	16	23
社会性										11	15	22

評価結果

点数化

- 点数化のための採点段階は、下記のとおり4段階で構成されています。
(よくできる＝3点、まあまあできる＝2点、あまりできない＝1点、まったくできない＝0点)
- 各領域の質問項目の点数を合計して総点を記録します。
- 総点に対する評価は、各領域で示す区切り点に基づき、下記の4つに評価されます。
①詳しい検査を勧める ②追跡検査を勧める ③月齢相応 ④早い方

作成日: _____
 評価者: _____ 署名